

【市民提案】

15. PR・情報発信

【主旨】

1. 東海道五十一宿の中での「川崎宿」の知名度をアップさせましょう。
2. さまざまな機会や媒体を通じて、川崎宿の情報を広く、全国に向けて発信するための基盤を整備しましょう。

【内容】

1. JR 川崎駅前、京急川崎駅前に案内板の設置

- 川崎駅前に、川崎宿の位置と成り立ちがわかるような案内板と解説板の設置を提案します。
- 地図には、寺社仏閣や歌碑などの資源を掲載しましょう。
- 駅前から川崎宿まで迷わずに行けるように、ルート上の歩道や誘導サインにキャラクターを配置するなど工夫しましょう。
- JRの駅だけでなく、京浜急行の駅前にも設置を目指します。

2. 宿シンボルの設置

- JR 川崎駅前や川崎宿の入り口に、宿のシンボルとなるモニュメントの設置を提案します。
例：宿場の両口に灯籠など

3. 川崎宿ホームページの作成

- 川崎宿の情報を全国に向けて発信する川崎宿独自のホームページを開設し、川崎宿で開催されるイベントやカリンの花の見頃など、日常的な情報を掲載しましょう。
- ホームページは最新の情報が掲載されていることが重要であり、ホームページを定期的に更新する作成委員会を立ち上げて進めます。

4. 既存施設・イベントを活用したPR

- JR 川崎駅東口正面にある大型ビジョンでは、幸区の夢見ヶ崎公園など市内の観光施設をPRしていますが、川崎宿に関する情報は提供されていません。川崎駅を毎日利用する人たちの中には、川崎宿や東海道の正確な位置を知らない人もいます。そこで、大型ビジョンを利用して、川崎宿の情報を発信しましょう。
- 川崎市が展開している「BUYかわさき」では、市内のさまざまな名産、名品が販売されています。川崎宿に関する土産品などが商品化されたあかつきには、「BUYかわさき」などのイベントを通じて川崎宿をアピールしましょう。



県が推進して作られた「バーチャル東海道」の川崎宿のページ